

おおか せいこ

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。
フランスで培ったフローラルワーク
を手がける。http://rencontrer.jp/



花のある 空間

大高 令子

秋を彩る アイボリーカラー

今月の花材

ヘリクリサム…菊のような花型

リモニウム…細かな花

スティファ…スキのような穂

ドライフラワーは、華やかさには欠けるものの、空気が乾燥する秋にはぴったりのテイストです。

そのためか、この季節、街のブティックのディスプレイには、ドライフラワーが飾られていることが多いものです。

近頃は、ドライフラワーの素材を扱うフラワーショップも増えてきましたが、もちろんご自身で乾燥させたものを使ってもよいでしょう。

基本的にはメンテナンス要らずで長く飾れるドライフラワーを自宅やオフィスにも取り入れてみてください。

まず、パニエ（フランス語でカゴのこと）を用意します。少し深さのあるもので、カジュアルなもののが合わせやすいでしょう。

素材を数本ずつ束ねて、ミニブーケのように輪ゴムで留めておきます。このとき、素材に長短の差を付けておくと、風が通るような

軽やかな印象に仕上がります。

そして、ミニブーケをパニエの端から立てていきます。整えすぎずに無造作な感じが似合うのも、ドライフラワーの魅力の1つです。また、パニエを使うことで、自然豊かな郊外にいるような味わいになります。

今回はアイボリーカラーに統一してアレンジしましたが、いろいろと工夫して、深まりゆく秋を楽しみましょう。